

ごのへ 議会だより

Gonoha Assembly News

議会広報
令和4年7月
第44号

第24回定例会(令和4年6月定例会)

議会のできごと	2	第23回臨時会	3	第24回定例会	4
一般質問(2人)	6	議員インタビュー	8	議員活動報告・編集後記	10

たくさん実りますように



関連記事 編集後記(10P)

手作業と機械作業。組合せと使い分けでより良い農作業を日々模索しています。これからの季節、熱中症にはご注意ください。



©東京ハイジ/五戸町

五戸小学校子ども町議会開催



7月5日に五戸小学校6年生の皆さんが議場見学に来てくれました。

三浦専治郎議長が話す議会の仕組みについての説明に真剣に耳を傾け、議場や議員控室などを興味深そうに見学してくれました。





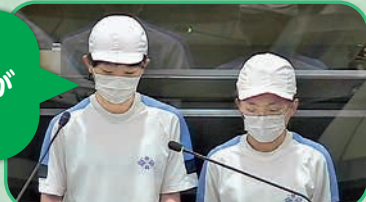
また、議場においては「五戸小学校子ども議会」が行われ、たくさんの意見を出し合いました。こうした体験を通じて町政に興味関心を持っていただければ嬉しいです。

議長

成人年齢や成人式は18歳と20歳どちらがいいと考えますか

18歳成人の方が選挙で多くの人の意見が集まると考えます

しっかり考えられる20歳での成人の方が安心だと考えます








事故防止のため道路整備などの公共事業に使われるべきと考えます

税金は何に使われるのが一番だと考えますか

より長生きできるような社会保障の取組に使われるべきと考えます

議長

議場で議員さんが実際に使っている椅子に座らせてもらい、五戸町の税金の使い道について話し合いました。この議題について、議員さんたちにも頑張ってもらって欲しいと思いました。

出川 遥稀 さん

議長をやってみると、人の意見を一つ一つ聞いて話し合いを進めるのが難しかったです。議長さんは大勢の前で進行ができてすごいと思いました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

中野 瑠和 さん

初めは議場や会議の見学をするのかと思っていました。まさか、本当に議会の席で会議ができるとは思っていませんでした。議員さんが実際に座っている席で話し合いができ、貴重な体験となりました。

向山 翔瑛 さん

議場見学後の主な感想を紹介します

紹介しきれませんでしたが、たくさん素晴らしいご感想をいただきありがとうございました。

第23回 令和4年4月 臨時会

4月28日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 15件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	13件	0件

町長提出案件

令和4年度補正予算 2件

① 一般会計補正予算 (第1号)

・補正額(増額)

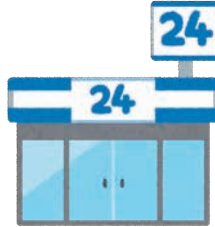
8234万5千円

・予算総額(補正後)

88億8289万8千円

【主な内容】

・コンビニ交付システム
導入業務委託料
2395万4千円



住民票などの交付サービス
に向けた環境整備を行う

・プレミアム商品券発行
事業費補助金
4039万3千円



6月4日から販売開始された
プレミアム付商品券

② 病院事業会計補正予算 (第1号)

・収益的支出

117万6千円増の
27億8933万7千円

・資本的収入

4520万円増の3億
7394万2千円

・資本的支出

5550万5千円増の
6億4960万9千円

審議の結果

全員賛成で可決

専決処分の承認 13件

条例の一部改正 3件

① 五戸町町税条例等の一部改正

【内容】

・地方税法の一部改正に伴うもの

② 五戸町介護保険条例の一部改正

【内容】

・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険料の減免措置の延長について定めるもの

③ 五戸町国民健康保険税条例の一部改正

【内容】

・地方税法施行令の一部改正に伴うもの

令和3年度補正予算 10件

① 一般会計補正予算 (第11号)

・補正額(増額)

1億6058万6千円

・予算総額

102億6175万円

【主な歳入増額】

・地方交付税
8858万8千円

【主な歳入減額】

・国庫支出金
△4107万7千円

【主な歳出増額】

・財政調整基金積立金
3億1678万2千円

【主な歳出減額】

・新型コロナウイルス予防接種業務委託料
△4380万円

② 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

・補正額(減額)

△131万6千円

・予算総額

③ 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)

△4845万3千円

・予算総額

21億1455万9千円

④ 下水道事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)

△379万1千円

・予算総額

3億7303万9千円

⑤ 農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)

△283万9千円

・予算総額

1億4318万3千円

⑥ 浄化槽事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)

△402万4千円

・予算総額

2343万7千円

⑦ 簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)

△346万円

・予算総額

⑧ 住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第5号)

・補正額(減額)

△627万円

・予算総額

2933万4千円

⑨ ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)

△357万6千円

・予算総額

2714万3千円

⑩ 病院事業会計補正予算(第4号)

・収益的収入

1億919万5千円増
24億8149万1千円

・資本的収入

3361万3千円増の
4億4737万円

審議の結果

全員賛成で承認

第24回 令和4年6月 定例会

6月7日から10日までの4日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 7件			
原案可決	同意	承認	認定
7件	0件	0件	0件

町長提出案件

報告 2件

損害賠償額の決定 1件

○町道倉石南線で発生した道路上の舗装劣化による車両物損事故の損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

① 損害賠償額

3万3千円
(町過失割合100%)

議案に対する質疑

問 尾形議員

現場を実際に見てきたが、穴は中央線を中心に存在しており、車両は中央線沿いを走行していたと推測する。通常は走行しない位置に見えたが、町の過失割合100%という結果は妥当であるか。

答 石田総務課長

詳細を付け加えると、当時は雨天であり、道路左側の水たまりを避けよ

うとハンドルを右に切り、穴に落ちたというもの。落ちた穴も10cmほどの深さがあったが、雨水が張っていたことから、運転中の目視で穴の程度を判断するのは困難であった。過失割合については当時の状況や写真等の資料に基づき損害保険会社が判断したものである。



① 一般会計繰越明許費繰越計算書 1件

繰越明許費繰越計算書

① 一般会計繰越明許費繰越計算書

・ 社会保障・税番号制度システム整備事業 271万9千円

・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 5973万円

5973万円

・ 農家燃料費支援事業 1200万円
・ 社会資本整備総合交付金事業(道路橋梁費) 1127万2千円

・ 過疎対策道路事業 1620万3千円

・ 社会資本整備総合交付金事業(都市計画費) 8963万2千円

令和3年度に完了が見込めないため、令和4年度に繰越して実施するもの(報告は採決しません)

① 五戸町証人等の実費弁償に関する条例の一部改正 2件

・ 町の各種政策及び事務事業を実施するために意見等を聴取することを目的として設置した附属機関以外の各種委員等に参加した者の旅費の支給について所要の改正を行うもの

【内容】

・ 農家燃料費支援事業 1200万円
・ 社会資本整備総合交付金事業(道路橋梁費) 1127万2千円
・ 過疎対策道路事業 1620万3千円
・ 社会資本整備総合交付金事業(都市計画費) 8963万2千円

② 五戸町病院事業の設置等に関する条例の一部改正

【内容】

・ 現在休止中の国民健康保険五戸総合病院川内診療所及び同院倉石診療所について、再開が困難であることから、廃止するために所要の改正を行うもの

審議の結果

全員賛成で可決

令和4年度補正予算 ③ 一般会計補正予算(第2号)

① 一般会計補正予算(第2号)

・ 補正額(増額) 1億3704万6千円
・ 予算総額(補正後) 90億1994万4千円

【主な内容】

・ 八戸圏域地域連携ICカード交付事業負担金 44万9千円



倉石診療所(左)と瑞穂館内の川内診療所(右)
医師・看護師の不足により、惜しまれつつも廃止となる



八戸圏域地域連携ICカード(通称 ハチカ)
町内小中学校の児童生徒を対象に交付事業を行う

・ 非課税世帯臨時特別給付金 800万円

・ 子育て世帯生活支援特別給付金 800万円

800万円



- ・新型コロナウィルス予防接種業務委託料 2309万6千円
- ・うまい森青いもり事業負担金 27万5千円
- ・給食センター備品費 (スチームコンベクションオープン故障による更新) 406万9千円
- ・農家持続化支援給付金 6000万円

② 五戸町介護保険特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 305万6千円

・予算総額 24億2106万円

【主な内容】

- ・会計年度任用職員報酬 142万円



③ 五戸町病院事業会計補正予算(第2号)

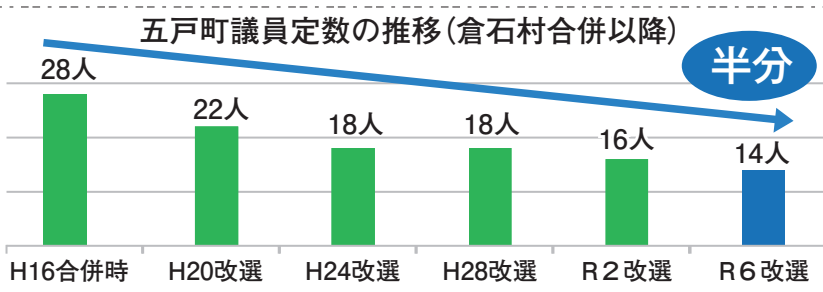
- ・資本的支出 887万5千円増の6億5848万4千円
- 【主な内容】
- ・病室トイレ改修工事費

審議の結果

全員賛成で可決

議員定数見直し
16人↓14人
2人削減

現在の社会情勢と今後の人口の動向等を考慮し、次回一般選挙からの五戸町議会議員の定数を改める提案を行った。(改正内容は下のとおり)



議会提出案件

条例の一部改正 2件

① 五戸町議会の議員の定数を定める条例の一部改正

【内容】

令和6年1月1日以降に告示される一般選挙から、五戸町議会の議員定数を次のとおり改めるもの

○五戸町議会議員定数 14人

② 五戸町議会委員会条例の一部改正

【内容】

・前述の議員定数改正に伴い、常任委員会等の定数を次のとおり改めるもの

- 総務常任委員会 5人
- 民生常任委員会 4人
- 資格審査特別委員会及び懲罰特別委員会 8人

審議の結果

全員賛成で可決

五戸町議会の各常任委員会等について

常任委員会等	役割	R6改選後の定数
総務常任委員会	総務、税務、教育、選挙、他の常任委員会の所管に属しない分野に関する議案・請願・陳情等の審査及び調査等を行う	5人 (現行6人)
経済常任委員会	産業経済、土木建設に関する議案・請願・陳情等の審査及び調査等を行う	5人 (現行5人)
民生常任委員会	社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、高齢者医療、介護保険に関する議案・請願・陳情等の審査及び調査等を行う	4人 (現行5人)
広報常任委員会	ごのへ議会だよりの編集・発行等、議会広報業務を行う	6人 (現行6人)
資格審査特別委員会及び懲罰特別委員会	議員の資格決定の要求や懲罰の動議があった際に設置され、その審議を行う	8人 (現行9人)

6月定例会では2人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



とよた たかお 豊田 孝夫 議員

◆DC351ディーゼル機関車の今後の活用は 町長 観光イベントなどを通して 歴史・文化・防災の教材として活用



現在展示中のDC351

質問①

屋外展示であり、屋根を架ける必要があると考えるが、実施の予定は。また、その経費はどの程度を予定しているか。

答 若宮町長

屋根架設の設計業務委託を予定。11月末の工期を目指している。経費は当初予算で計上した446万9千円の範囲での施工を予定している。

質問②

機関車再塗装の実施とその費用は。また、エンジン・機器類の整備等は。

答 若宮町長

再塗装は当時のオリジナルを活かし、業者指導で住民参加型で行いた

い。費用は専門業者に現状を見てもらって算出したい。また、エンジン等の整備は41ページに及ぶ説明文と26の図面からなる説明書があり、始動までできるのではないかと考える。

質問③

輸送経費を募ったクラウドファンディングの募金件数と金額は。また、かかった輸送費は。

答 若宮町長

(次表のとおり)

寄附	クラウドファンディング	314件	5,758,000円
	直接寄附	15団体	615,000円
	合計		6,373,000円
経費	輸送費(京都～五戸)		7,337,000円
	レール設置、映像記録等		5,085,917円
	合計		12,422,917円

質問④

機関車を活用したイベントの企画、また観光への活用と五戸町観光協会との連携はいかがか。

答 若宮町長

住民参加型イベントを検討中。例えば50mの線路をいかした35tの機関車との綱引きや、再塗装イベントなど。観光協会と連携した観光への活用も検討する。

質問⑤

旧鉄道を活用してイベントを実施している近隣町村との連携はいかがか。

答 若宮町長

六戸町、七戸町との3地区合同イベントを考えている。その他、全国の鉄道ファンを対象としたPRにも努めていく。



©東京ハイジ/五戸町

◆令和4年度の水田農業の作付けは 町長 主食用米が増加の見込み

質問①

令和4年度の水稲の作付け計画面積はいかがか。

答 若宮町長

主食用米約673ha、飼料用米は約84ha、加工用米は約5ha、輸出用米は約9haの計画。

質問②

昨年度からの変化は。

答 若宮町長

主食用米は作付面積が約35haの増。飼料用米は約11haの増。加工用米、輸出用米は横ばい。

再質問

米価下落の現状に反して主食用米面積が増加した。考えられる要因は。

答 若宮町長

現在未確定だが備蓄用米が前年より少ない見込みでその分が主食用米に

転換したこと、昨年の米価下落対策支援による離農の抑制が考えられる。

質問③

水田活用の直接支払交付金の見直しについて。

答 若宮町長

飼料用米の複数年契約加算の減額、牧草の交付単価の見直し、令和4年から8年まで一度も水稲作付けがない水田の交付対象外化、が主なるもの。

質問④

米価下落に伴う稲作農家減少の懸念があったが、実際の変化は。

答 若宮町長

営農計画書の提出状況から見ると令和2年、3年はそれぞれ60戸の減だが、令和4年は約20戸の減にとどまっている。

一般質問



手話であいさつする鈴木議員

質問①
令和4年3月、五戸町議会定例会にて手話言語条例が可決され、同年4月1日から施行された。手話言語条例は手話を言語と認め、手話の普及に取り組み、聴覚に障がいを持つ方々やその関係者にとって、大変意義ある条例である。しかし、手話の普及には課題が多いが町はどのようにこれに取り組み、本条例を実のあるものにするのか。



鈴木 隆也 議員

◆手話言語条例への取組は
町長 人材育成と啓蒙活動により実のある条例とする

答 若宮町長

地元の手話サークル「さくらの会」などの関係団体と連携し、町内の幼稚園・保育園や学校などで講座を開催し、幼少期から手話に接する機会を設けたり、各種イベントや広報紙、ケーブルテレビなどで五戸町民が手話に接する機会を増やしたりして、手話への理解促進と普及に取り組み。

答 澤田教育長

町立小中学校でも手話への理解を深める授業などに取り組み、多様な生き方を認め合う豊かな心を育みたい。



手話言語条例とは

「手話が言語である」という認識に基づき、町と町民との協力により、すべての町民が相互に尊重しあいながら心豊かに暮らすことのできる地域社会実現を目的とした条例。

町の役割

- 手話の使用しやすい環境の構築
- 手話への理解・手話の普及促進に関する施策推進
- 手話による意思疎通の支援に関する施策推進

町民の皆様への役割

- 手話と、手話が必要とする人への理解
- 町が推進する手話に関する施策への協力

◆今年度のコロナ禍における経済対策や観光イベントの開催は
町長 地域の実情に応じた経済対策に取り組み、観光イベントも復活させたい

答 若宮町長

質問①
コロナ禍3年目となるが今年度取り組む経済対策は。

- ・一律15万円を給付する飲食店等事業継続支援金
- ・プレミアム率25%の五戸町・新郷村特別プレミアム付共通商品券発行事業

今後予定している取組（一部抜粋）

- ・3千円の購入費で5千円分の商品券となる飲食店専用応援チケット発行事業（※7月2日から販売され、完了しました。）

・コロナ禍で帰省できずにいる家族へ地元の特産品等を送り励ますために、町が配送料を負担するまごころ配送事業の夏と冬の実施

・令和4年度分の住民税均等割額が新規に非課税の世帯を対象に10万円の給付

・資材、燃料価格の高騰のあたりを受ける農家に対する農家支援持続化給付金 など

真に生活に困っている方々への支援措置の強化と地域の実情を踏まえた対策事業を実施する。

質問②
五戸まつりなどの観光イベントの再開は。

答 若宮町長

五戸まつりについては山車運行団体へ参加継続補助金を計上している。このへ夏まつりや産業まつりの他、ビックリ夜店やまける市などの中心商店街活性化事業等も含め、各種イベントが万全なコロナ対策を講じて開催できるよう各団体に働きかけている。



佐々木琢磨選手

祝 金メダル!!
五戸町出身で聴覚に障がいを持つ陸上選手である佐々木琢磨選手。令和4年5月のデフリンピック陸上男子100mにて金メダルを獲得した。



©東京ハイジ/五戸町

沢田良一副議長

生年月日:昭和11年12月29日(85歳)

担当委員会:経済常任委員会

当選回数:6回

●議員インタビュー

町民の皆様には議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎号1人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。

今回は五戸町議会副議長を務める「沢田良二」議員へのインタビューです。

(インタビュー)...

広報常任委員 委員長 川崎七洋

Q 本日はよろしくお願
いします。

A 沢田良一 議員

よろしくお願いたします。

Q 上市川地区にお住ま
いですが、農業を営ま
れているとお伺いして
います。

A 沢田良一 議員

そうですね。地元の
農家の皆さんとらるる
やらせてもらっています。

Q ご家族で農業をされ
ていらっしゃるんで
しょうか？

A 沢田良一 議員

妻と二人です。子ども
はみんな外で就職してし
まって、帰ってくる目途

が立っていません。医療
関係の仕事についてし
まったものだから、人の
命に関わると思えば簡単
に辞めるとも言えないだ
ろうし、「うちも帰って
こい」とは言えないうす
し。そのうち時間が
たってしまつて、今は
後継者にも困っている
という状況です。

Q 上市川地区も農家の
後継者問題は大変な
状況のようですね...

A 沢田良一 議員

大変も大変。今はまだ
お年寄りの皆も体が動く
からまだいいけれど、あ
と何年かしたら体が動か
なくなつてきて、そうな
れば農地も山も何もかも
みんな放棄地になつてし
まいます。

副議長

議員インタビュー



地元の土地改良区でも活動している沢田議員
農家と農地を支えるために日々飛び回っています

昔は山も畑も資産価値があつて「売ってくれ」と言われても売らなかつたのですが、今は持つてただけで負債になつてしまします。こんな状況で若い人に戻つてこいと言つても戻れるわけがないんです。

Q 若い人を受け入れる環境が必要ですね。

A 沢田良一議員
そもそも今の五戸町には勤め先が少ないのです。

企業誘致もないし、黙つていても来てくれるわけではありません。生きるには仕事をしなければならぬから町外や県外で仕事に就くしかないこともありますが、そうなるもありません。結婚して今度はそつちで結婚して帰れなくなるし、年月がたつてから帰りたいと思つても五戸の風習や文化もわからなくなつてしまつていくから「今更」と思つてしまつて結局帰つてこれなくなりま

す。この状況が進むと

農地だけじゃなく、誰も住んでいない家がどんどん出てきます。こういう状況にさせないのが一番ですが、いざそうなつたときにどうしていくか、今から考えなければいけないです。

Q 確かに五戸町で企業誘致をと考えても、景気状況もあり、難しいのが現状ですね。

A 沢田良一議員

五戸町は住みやすい所です。いい土地なんだけれど、それをどう生かすかが重要だと思ひます。今世界ではウクライナ情勢で食料事情がひつ迫しています。昔から食料自給率の低さが問題とされていきますが、国は有効な対策を行つていません。昔の五戸町ほどの農家も麦や大豆なども作つていたが、今は外国から大量に輸入されるので作るのを止めてしまつたんです。

平和な時ならよかつたかもしれないませんが、これからは違います。このままでいけば日本は本当に危ないです。その意味でも農業の振興は重要課題だと思つていきます。

Q そのためにも冒頭おっしゃつていた「負債」の部分は何とかしたいですね。

A 沢田良一議員

山の活用の話であれば、今は企業に入つてもらつて、ソーラー発電事業に使えないかということでは話を進めています。ソーラー設備の寿命は30年ほどだそうなので、その後も含めて、国と関わりながら進めることになりま

Q 山を副収入につなげられれば、農業も悪くないと思う人も増えるかもしれませんね。



山での太陽光発電

所有しているだけになっている土地の活用方法の一案として検討中

A 沢田良一議員

当然それだけではダメで、新規就農者と農地のマッチングをもつと推進しないとイケません。休耕地が多いし、その再生もとんでもない労力がかかります。休耕地にさせて農地を回転させる中間機構のようなものが

技術の開発はできないかと前町長と何度か話をしましたが、話は進みませんでした。毎日毎年のことだからここが楽になると農家はすぐ助かります。現町長には農家をどう支えていくか、その政策に期待して注視していきます。農家を育て、税金を納めても大丈夫だというくらい稼がせてあげてほしいと思ひます。

あとは農業で出る廃棄物。野焼きは禁止されていますから農家は処分

ありがとうございます。今後の活躍を期待しています。

(了)

五戸地区議会議員研修会

令和4年4月28日、新郷村(美郷館)にて五戸町議会議員と新郷村議会議員で構成されている五戸地区議会議員の研修会が開催され、県外からの移住や地域の若者の定住を促す考え方・取組について講師からお話を伺いました。

講演 「県外から移住者を呼び込んで、地域を元気にしませんか？」

講師 青森県企画政策部地域活力振興課 移住・交流推進G副参事 大中 幸子 氏



町村議会広報研修会

令和4年5月25日、青森市で開催された議会広報の作成に関する研修会に広報常任委員会から、川崎委員長、和田委員、柏田委員の3人が出席し、「読まれ、伝わる広報紙」を作る手法について学びました。

講演 (1)「住民に読まれ議会活動が伝わる - 議会広報の基本と編集 -」

(2)「町村議会広報クリニック」(五戸町、平内町、中泊町、藤崎町、六ヶ所村、大間町、計6町村議会の広報紙を取り上げ、紙面編集の指導が行われました)

講師 議会広報サポーター 芳野 政明 氏



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

水稲は出穂を目前に控え、りんごも農薬散布、袋掛け、仕上げ摘果と毎日追われるように作業をこなしています。ニンニクも6月から掘り取り開始、乾燥から出荷準備までと、今年前半の作業を滞りなく終えた模様です。

農作業は体力勝負ではありますが、最近は大規模な機械を駆使して高効率化・省力化を図るスマート農業が広がっています。代表的なのがドローンの活用で、農薬等の空中散布はもちろん、水稲の播種までこなすようになりました。導入・維持管理費が負担になります。若者が抱く重労働なイメージを払拭でき、後継者不足の解消にも繋がるのではないかなと期待します。

副委員長 豊田 孝夫

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月8日開会予定です。詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和4年10月発行予定です。

広報常任委員会

委員長 川崎 七洋
副委員長 豊田 孝夫
委員 和田 智也
委員 柏田 匡智
委員 鈴木 隆也
委員 大久保 和夫
発行責任者 議長 三浦 專治郎
令和4年7月22日発行